

社会と共に未来を創る。組織の強さは人材から。

当社は、直面する社会課題を見据え、事業環境の変化に対応し中長期的な企業価値向上を果たすため、2021年3月にVision2030「Be the best SPICE! ～心躍る極上のスパイスになる～」を策定しました。企業の持続的な成長の源は人材であるという考えのもと、多種多様な視点や価値観を持つ人材がそれぞれの能力に磨きをかけ、強みを活かして働くことのできる組織の実現を目指しています。

個の成長と組織の活性化を目指し、2024年度は2023年度から導入した職能資格等級制度に応じた評価制度の定着に注力しました。コンプライアンスの徹底や多様性を受容することで持続的成長の土台をつくり、その上で挑戦を“後押し”する人事施策を推進しています。社会を動かす未来を創るものづくり企業へと成長を続けていくために、次なる社会を果敢に切り拓いていく人材・組織を目指します。

環境変化

人材の流動化
働く目的、価値観の多様化
社会からの要望の変化

挑戦を後押しする人事施策

保守型人材から挑戦型人材への変革
Change & Challenge

高速に変化する環境に対応するため、自ら考え行動する挑戦型人材への変容を促しています。自立型学習の支援や改善活動の定着に注力し、個の能力向上を目指しています。また、シニア層のスキルや経験を活かし、働きがいを持って働くことのできる制度の運用を開始しています。

組織開発

- コーチング研修
- 方針管理強化の為にワークショップ実施

人材開発

- 評価者研修
- ポジティブフィードバック研修
- 管理職昇格対象の役割研修
- 中間面談の必須化
- チャレンジに重点を置いた評価

多様な雇用形態

- 定年再雇用者に対する職務評価制度の導入

従業員インタビュー

ものづくりの要となる生産本部に所属しています。製品の安定供給や顧客満足度を高めるために、自部署だけでなく、他部署との連携や協力し合う姿勢を大切にしています。変化の激しい時代に対しても、今まで培ってきた知識を活用し、経験から新たな視点を取り入れ、経験を継承していくことが組織のレベルアップとなり活性化にも貢献できると考えています。

京都工場 事務課

組織課題と課題解決の取組みへの影響を把握するために、従業員意識調査や人事メンバーによる1on1ミーティングを実施しました。各部署における取り組みの好事例を横展開し、各部署長が部長とともに改善を進めていくことを促しています。

カテゴリー	内容	ポイント
挑戦	チャレンジが推奨され、支援される組織へ 「チャレンジが推奨され、支援されていますか？」の1項目において	+4.4 ポイント (前年比)
成長	仕事を通じて自分の成長を感じられる組織へ 「現在の仕事を通じ、自分が成長できていると感じますか？」「あなたの努力や成功、成長を認めてくれますか？」等の全4項目において	平均 +5.0 ポイント
組織の垣根	組織の垣根を越えて協力し合う風土を持つ組織へ 「新日本理化では組織の垣根を越えて協力し合う風土があると思いますか？」の1項目において	+1.6 ポイント
一体感	目標達成に向けて部署の一体感がある組織へ 「目標達成に向けて部署の一体感があると感じますか？」の1項目において	+8.8 ポイント

事業成長 あるべき姿

Be the best SPICE!
～心躍る極上のスパイスになる～

個の成長

自ら考え行動する
挑戦型人材

✕

組織の活性化

誰もがやりがいを持って
働ける組織

ワークエンゲージメント* 73.3%
70%以上を維持

*ワークエンゲージメント：従業員意識調査アンケートにて「現在の仕事にやりがいを感じている」と回答した人の割合。

社会発展

コンプライアンスの徹底

人権を尊重し、児童労働や強制労働などの人権侵害はいたしません。また、法令順守に留まらず風通しの良い職場環境をつくり、オープンでフェアな企業活動を実践します。

- コンプライアンスハンドブックの配布
- コンプライアンス教育 (クイズ形式で月2回配信、研修受講)
- コンプライアンス監査(年1回、全事業所)
- 相談窓口の設置(内部通報窓口、外部専門家、労働組合)
- ハラスメント研修
- ハラスメント関連の相談窓口の設置とイントラネットへの掲載

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

スキルアップや会社理解を深めることを目的とした内定者アルバイトの受け入れを実施するなど、多様な経験やキャリアを有する人材の採用と登用を進めています。2020年以降、新卒社員の3年間定着率は100%であり、今後もこの高い定着率を維持できるよう努めます。

	2024年度実績	2025年度目標
中途採用比率	43.9%	—
女性管理職比率	9.9%	7%以上
男性育休取得率	100%	100%
障がい者雇用比率	1.9%	2.5%